

第 1 学年国語科学習指導案

単元名 「ことばであそぼう」

1. 目標

(1) 関心・意欲・態度

- ・言葉遊びを楽しみながら，平仮名や片仮名を読んだり，書いたりしようとする。

(2) 伝え合う力

- ・「わたしは だと思います。」と，話型を使って自分の意見を言うことができる。
- ・話す人の方を向いて興味をもって，話を聞くことができる。

(3) 教科のねらい

- ・語や文の続き方に注意して，言葉遊びの文を作ることができる。
- ・平仮名や片仮名を読み，書くことができる。また，片仮名で書く語を文の中で使うことができる。

2. 指導計画（全 4 時間 本時 3 / 4 時間）

第 1 時 しりとり遊びをしよう。

第 2 時 あたまとり遊びをしよう。

第 3 時 平仮名のクロスワードパズルを楽しもう。

第 4 時 片仮名のクロスワードパズルを楽しもう。

3. ICT 機器活用の意図

- ・プロジェクターを使うことによって、児童がクロスワードパズルの解き方や作り方を理解しやすくなる。
- ・児童が発表する際にプロジェクターを使うことで、聞き手に分かりやすく話すことができる。

4. 本時の学習

(1) ねらい

- ・クロスワードパズルを楽しみ、ワークシートを使ってクロスワードパズルを作ることができる。(表現・知識)
- ・自分の意見や感想を話型に沿って発表することができる。(伝え合う力)

(2) 展開

	学 習 活 動	教 師 の 支 援 と 評 価 基 準	準 備 物 等
つかむ	<p>1 本時の学習課題を知る。 黒板のクロスワードパズルを解き発表する。 「ぼくは、 だと思ひます。」</p> <p>クロスワードパズルの作り方を知る。 ・ワークシートの言葉を使って、クロスワードパズルを作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロスワードパズルを作ること知らせる。 ・クロスワードパズルは、縦の言葉と横の言葉が交差した所に、同じ言葉が入ることを理解させる。 ・パズルの横の絵がヒントになっていることを理解させる。 ・パズルの作り方 縦の枠に入れる言葉を選んで書く。 横の枠に入れる言葉を選んで書く。 残す文字を決めてあとの文字を消すことを理解させる。 	<p>O H C 付 プロジェクター</p> <p>ワークシート</p>
ふかめる	<p>1 クロスワードパズルを作りましょう。</p> <p>2 クロスワードパズルを作る。 ・ワークシートの言葉を組み合わせて作る。 ・集めた言葉を組み合わせて、クロスワードパズルを作る。</p> <p>3 作ったパズルをO H C 付プロジェクタで黒板に映し、答えを考える。 発表者 「パズルの答えは何でしょう。」 回答者 「ぼくは、 だと思ひます。」 発表者 「正解です。」「違います。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で作るコースとヒントカードを使って作るコースを選ばせる。 ・クロスワードパズルを作るのが難しい児童には、個別にかかわる。(T2) ・自分で作りたいが、言葉が思いつかない児童には、絵カードや絵本などを使わせる。 <p>《評価基準》(表現・知識)</p> <p>A: クロスワードパズルを自分で作ることができる。 B: ヒントカードを使って、クロスワードでパズルを作ることができる。 C: クロスワードでパズルを作ることができない。</p> <p>《評価基準》(伝え合う力)</p> <p>A: 話型に沿って、自分の意見や感想を発表することができる。 B: 自分の考えが発表できる。 C: 自分の意見や感想を発表することができない。</p>	<p>ワークシート</p> <p>絵本 ことば絵辞典 絵カード</p> <p>O H C 付きプロジェクター</p>
まとめる	<p>4 感想を発表する。 「 さんのが でした。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かんたんでした。 ・楽しかったです。 ・むずかしかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上手に発表できたところをほめる。 ・次時は片仮名でクロスワードパズルを作ること伝え、言葉に対する興味関心を持ち続けられるようにする。 	

(3) 授業の様子、ワークシート

